

公表

事業所における自己評価総括表 【学齢児】

○事業所名	浦安市こども発達センター（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 6 月 1日		～	令和 6 年 7 月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 6 月 1日		～	令和 6 年 7 月 30日
○従業者評価（児童発達支援管理責任者）有効回答	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業者評価（訪問支援員）有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○訪問先施設評価実施期間	令和 6 年 6 月 1日		～	令和 6 年 7 月 30日
○訪問先施設（担任・支援員）評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○訪問先施設（管理職）評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 5 月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども発達センターは言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、療育相談員（心理士）、保育士など、様々な専門職を配置しており、それぞれの専門性を活かして、チームアプローチでお子さんの支援を行っています。	こども発達センター在籍のお子さんには、必要に応じ様々な職種によるアセスメントを行っています。保育所等訪問支援開始に当たっては、それらのアセスメント結果とお子さんや保護者のニーズを踏まえ、訪問支援員の職種を決定しています。また多角的・客観的にお子さんの発達状況を捉えて、支援計画を作成し、専門性の高い支援を提供しています。	職員一人一人の資質の向上が必要となる為、スーパーバイズやコンサルテーション、先輩訪問支援員による同行訪問など、年間を通して研修の機会を多数設定します。
2	訪問支援員は、支援に対して広い知識と技術を持ち、小学校教諭や支援員への助言・説明は、具体的に分かりやすく、学校教育現場に取り入れやすいものとなっています。	保育所等訪問支援だけでなく、当センターは日頃から、様々な事業を通して訪問先施設との連携と協働を大切にしております。日頃の連携・協働が「訪問先施設の現状に即した、具体的に分かりやすいアドバイス」に繋がったのではないかと考えています。	保育所等訪問支援だけでなく、個別相談や小集団指導のカンファレンス訪問、地域機関支援、研修会の開催などを通して、多くの職員が訪問先施設の文化やニーズを理解する機会を設けます。また、他事業所の保育所等訪問との情報交換や勉強会などの場も設定します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の利用定員が少ない。	こども発達センターは、児童発達支援センターの機能を有しているため、法定事業や発達支援のすそ野を広げる役割のほか、市単独事業など複数の事業を展開しています。そのため職員の兼務が多く、保育所等訪問支援に充てる人材の確保が課題と捉えています。	保育所等訪問支援を実施できる職員を育成するために通年での研修を開催します。一方で、民間の児童発達支援事業所や保育所等訪問支援事業所と連携し、こども発達センターの専門性に特化した事業を展開するなど、業務の整理と効率的運営を検討します。
2	保護者様から「研修等の情報発信についての説明があったのか分からない」とのご指摘がありました。	こども発達センターは公の機関である特性上、SNSの利用などに制限はありますが、研修等の情報発信が館内掲示中心であったことは、来館頻度の少ない方にとっては情報が行き届きにくい状況であったのではないかと考えています。	館内掲示だけでなく、市ホームページ等を活用するなど、発達支援に関する情報の発信と共有を検討します。
3	保護者様より「お子さんの発達課題について共通理解ができていない」「共感的に関われない」というご意見がありました。	保護者様だけでなく、「必要な情報を必要なタイミングで、正確に伝える技術」および「相手に伝わるように伝えるために必要な工夫」について、職員により認識に差があるのではないかと考えました。	保護者様の知りたいことが、どのようにすると正確に伝わるかといった面接スキルや、コミュニケーションスキルについて、職員間で勉強会や情報交換の機会を持ちます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果【学齢児】

事業所名 浦安市こども発達センター(保育所等訪問支援)

公表日：令和 7 年 5 月 27 日

利用児童数：4名 回収数：4名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
体制	1	職員の配置や専門性は適切でしたか。	4			適切だと思います。	引き続き、お子さんと保護者様のニーズに応じた職員配置に努めます。
適切な支援の提供	2	子どもと保護者のニーズや課題がしっかり分析された上で、保育所等訪問支援の個別支援計画が作成されましたか。	4			意見なし	保育所等訪問支援計画は、お子さんや保護者様のニーズを基に、訪問支援員による集団場面の評価だけでなく、個別相談職員の評価も参考にしながら作成しています。
	3	保育所等訪問支援の個別支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択されていましたか。	4			意見なし	お子さんの発達状況やニーズに合わせ、学校生活の開始時に必要かつ実現可能な項目を、選択するように心がけています。
	4	保育所等訪問支援の個別支援計画には、具体的な支援内容が設定されていましたか。	4			意見なし	「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえ、学校生活が円滑に開始できるよう、具体的な支援内容を設定します。
	5	保育所等訪問の個別支援計画に沿った支援が行われていましたか。	4			場面に合った声かけ等をして頂けたと思います。	計画を基に支援しています。状態の変化があれば、適宜計画の見直しを行います。
	6	保育所等訪問の頻度や時間帯は、適切でしたか。	4			意見なし	訪問時間は、お子さんの状態と学級担任のニーズに照らし合わせて決定しました。
	7	子どもの状態の変化に合わせて、支援内容が固定化しないよう工夫されていましたか。	4			行事の練習を見られる時に訪問するなど工夫して下さっていました。	引き続き、状況に応じた臨機応変な支援の提供に努めます。
	8	契約時に支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をされましたか。	4			意見なし	引き続き、丁寧な分かりやすい説明を行います。
保護者への説明等	9	保育所等訪問支援の個別支援計画を示しながら、支援内容の説明をされましたか。	4			意見なし	個別に面談で、「保育所訪問支援計画」を見ながら支援内容の説明を行います。
	10	保護者に対して家族支援が行われていますか。	4			意見なし	当センターでは、ペアレントトレーニングや保護者向けの研修会を開催しています。
	11	日頃から子どもの状態を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていましたか。	4			意見なし	個別相談などで来館された際にもお声掛けし、お子さんの直近の様子なども伺うように努めます。
	12	定期的に保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われていましたか。	4			家庭での対応の仕方も助言して頂いていました。	月に1回は対面での面談を行っていますが、リモートでの面談の実施も検討します。
	13	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していましたか。	3	1		・どちらともいえない：特に苦情がなかったので対応等については分かりません。	引き続き、お子さんや保護者様のニーズや課題の応じた対応に努めます。
	14	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていましたか。	4			意見なし	実際に使用する教材をお見せしたり、図や絵を描いたりして、確実に情報の共有を図ることが出来るようにしました。
	15	個人情報の取り扱いに十分注意されていましたか。	4			意見なし	引き続き、個人情報の取り扱いに十分に留意します。
	16	保育所等訪問支援を利用することで、保護者と学校とでお子さんの理解や共通理解が深まりましたか。	4			行動などの細かい分析のおかげで、関わり方や課題などの共通理解のきっかけとなっている。	引き続き、お子さんの発達状況や行動の理由を分析し、分かりやすい説明を心がけます。

その他	17	保育所等訪問支援を利用したことで、学校や担任に相談しやすくなりましたか。	4		意見なし	引き続き、保護者様と学校がお子さんの成長・発達について相談しやすくなるように努めます。
	18	保育所等訪問支援を利用したことで、お子さんの学校生活が豊かになりましたか。	4		・お友達とのかかわり方が徐々に良くなってきたと思います。 ・訪問支援の専門的な視点により学校生活にスムーズに入って行けた。	保護者様やお子さんが「保育所等訪問支援を使ってよかった」と感じていただけるよう、今後も専門性を磨きます。

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
・保育園の頃からの継続での訪問支援、本当にありがとうございました。親子ともども支援が心の支えになり安心感を持ってました。専門的な視点からの支援があり、本人の行動や気持ちも汲み取っていくことも出来ました。また、定期的に見ていただいているので、相談もさせて頂ける環境が安心でした。3か月間の支援でもありがたかったのですが、今後も支援継続が受けられるようになると心強いです。本人の成長もより大きくなると思っています。 ・こどもの状況、親の心配事などを一早く察知しサポートして頂けたお陰で就学に至るまで安心できました。長々と発達センターの方々のお世話になりました。 ・訪問支援を利用したことで、よりこどもにとっても周りの大人にとってもプラスになり、全体的に良い影響を受けることが出来ました。	・学齢児に対する保育所等訪問支援は、当センターとしては初の試みであったため、未就学期から保育所等訪問支援を利用されているお子さんを対象に、移行支援として期間限定で保育所等訪問支援を実施しました。 発達と発達支援に関する知識ならびに職種の専門性、保育所等訪問支援のスキルは、園だけでなく、小学校にも共通する部分が多いと分かったことは、私たちにとっても大きな収穫でした。小学校にもお子さんの状態を理解していただい、お子さんと保護者様が安心して学校生活をスタートするお手伝いができたことを、大変嬉しく思います。 一方で、学校教育の文化や価値観について学ぶことも多く、訪問先施設の理解を深めるために、今後も精進します。保護者の皆様にはご協力いただき、感謝申し上げます。

公表

訪問先施設(担任・支援員)からの事業所評価の集計結果【学齢児】

事業所名 浦安市こども発達センター(保育所等訪問支援)

公表日：令和7年5月27日

利用児童数：4名 回収数：6名

区分		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
導入 体制	1	保育所等訪問支援事業の趣旨、目的、概要について丁寧な説明がされましたか。	5		1	意見なし	小学校は園に比べ、お子さんに関わる教職員が多いため、関係者全員に本事業の説明を行う機会の設定を工夫します。
	2	職員の専門性は適切でしたか。	6			意見なし	引き続き、支援ニーズに応じた職員配置に努めます。
実際の支援について	3	子どもと保護者、学校のニーズや課題がしっかり分析された上で、保育所等訪問支援の個別支援計画が作成されていましたか。	5	1		・どちらともいえない： 保育所等訪問支援計画未確認の為	ご指摘ありがとうございます。 現場の教職員の皆さまのご意見を伺いながら保育所等訪問支援計画を作成し、実施しましたが、関係する教職員全員のご意見を伺うことが出来ない学校もありました。今後は、計画(案)作成の段階から、文書も活用し、情報共有の漏れの無いように努めます。
	4	保育所等訪問の個別支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていましたか。	5	1			
	5	保育所等訪問支援の個別支援計画に沿った支援が行われていましたか。	5	1			
	6	訪問日等の日程調整は負担なくできましたか。	6			意見なし	時間割の調整など、ご協力いただきありがとうございました。
	7	担任の先生が困っている時間帯や支援が必要な時間帯の訪問でしたか。	6			外出の時に支援していただき助かりました	引き続き、状況に応じた臨機応変な支援の提供に努めます。
	8	訪問の頻度や時間は、適当でしたか。	6			意見なし	引き続き、状況やニーズに応じた訪問頻度・訪問時間の設定に努めます。
	9	訪問時の支援は、集団の流れや雰囲気を阻害しない方法でしたか。	6			意見なし	引き続き、学校活動の流れに沿った支援に配慮します。
	10	訪問時の支援は、子どもの課題に合わせた支援でしたか。	6			意見なし	・今後も、発達支援の専門性を活かした支援に努めます。
	11	机の位置等の教室環境について具体的な提案がありましたか。	6			意見なし	今後も、学校環境に合わせ、具体的な提案をします。
	12	担任の先生等が可能な支援内容の提案でしたか。	6			意見なし	引き続き、教職員の皆様が取り入れやすい支援内容・方法を提案できるように努めます。
	13	当該児童が以前保育園や発達センターで受けていた支援内容を担任の先生に伝達し、支援内容を共有できましたか。	5		1	はい：沢山教えていただきました。	今後とも、教職員の皆様の「こども理解を深めたい」という熱意にお応えできるようにします。
	14	子どもの状態の変化に合わせて、支援内容が固定化しないよう工夫されていましたか。	5		1	意見なし	R6年度は本事業を学校への移行支援という位置づけとした為、3か月という短期間の設定となりました。その為、支援内容に大きな変化は無かったかもしれませんが。その場合も、根拠とともにその理由をお示しするように配慮します。
	15	カンファレンス等により、子どもの状態を学校と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができましたか。	6			意見なし	今後も、基本的には毎月1回、ニーズと必要性があれば訪問回ごとに、カンファレンスを行います。

	16	カンファレンス等の情報共有により、学校と保護者とで子どもの発達状況や課題についての理解がすすみましたか。	6			意見なし	今後も必要に応じ、保護者様も同席でカンファレンスを行います。
	17	個人情報の取り扱いに十分注意していましたか。	6			意見なし	引き続き、個人情報の取り扱いに十分に留意します。
その他	18	保育所等訪問支援が入ったことで、児童の理解が深まりましたか。	5	1		意見なし	お子さん理解の一役を担えるよう、引き続き専門性を高めるよう努力いたします。
	19	保育所等訪問支援が入ったことで、児童の支援により影響がありましたか。	6			意見なし	引き続き、教職員の皆様を取り入れやすい支援内容・方法を提案できるように努めます。
	20	保育所等訪問支援が入ったことで、担任の先生等が困っていることは相談しやすくなりましたか。	6			意見なし	教職員の皆様からの相談は多岐に渡る為、学校組織や文化を理解し、困りごとの解消に繋がるよう尽力します。
	21	保育所等訪問支援が入ったことで、保護者と子どもの共通理解が図りやすくなりましたか。	5		1	意見なし	教職員の皆様の意向も受け、保護者様と子どもの共通理解が深まる支援が出来るようにします。

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
・幼い頃から見ていて児童の性格、特性、出来ること、今までの支援等分かっている先生と直接お話が出来たり保護者へ伝えづらい内容にたいしてどうしたら良いかの相談に乗って頂いたり、大変助かりました。ありがとうございました。今後も関わりの場が持てると嬉しいです。 ・入学以前の様子も教えていただき、とても参考になりました。最後は保護者も交え、成長具合や今後についても話し合いが持て、とてもいい機会になりました。	・学齢児に対する保育所等訪問支援は、当センターとしては初の試みであったため、未就学期から本事業を利用されているお子さんを対象に、移行支援として3か月期間限定で保育所等訪問支援を実施いたしました。ご協力いただきました教職員の皆様には、深く御礼申し上げます。 保育所等訪問支援は、学級担任・支援員の先生方に、今までの支援やお子さん・保護者様について理解していただき、お子さんと保護者様が安心して学校生活をスタートする一助となる事業です。今後とも発達と発達支援に関する知識ならびに職種の専門性、保育所等訪問支援のスキルを磨き、学校現場でも有益な事業となるよう尽力します。

公表

訪問先施設(管理職)による事業所評価の集計結果【学齢児】

事業所名 浦安市こども発達センター(保育所等訪問支援)

公表日：令和7年5月27日

利用児童数：4名 回収数：4名

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
事前説明	1 保育所等訪問支援事業の趣旨、目的、概要について丁寧な説明がされましたか。	4			ご多用なところ、わざわざ来校され、丁寧にご説明いただいた。	引き続き、事業の趣旨、目的、概要について、分かりやすい丁寧な説明を心掛けます。
計画	2 保育所等訪問支援計画の内容は、担任の先生や学校の意見が反映された内容になっていましたか。	3	1		・はい：学校側の困り感に沿って、支援計画を作成していただいた。 ・どちらともいえない：保育所等訪問支援計画未確認の為。	ご指摘ありがとうございます。 現場の教職員の皆様のご意見を伺いながら保育所等訪問支援計画を作成し、実施しましたが、関係する教職員全員のご意見を伺うことが出来ない学校もありました。今後は、計画(案)作成の段階から、文書も活用し、情報共有の漏れの無いように努めます。
	3 保育所等訪問支援の個別支援計画は、校内で共通理解されましたか。	3		1	・はい：関係教職員で共有し、共通理解できた。 ・いいえ：保育所等訪問支援計画未確認の為。	
支援について	4 保育所等訪問支援の頻度や時間は適切でしたでしたか。	2	2		どちらともいえない：管理職には適切であったが、関係教職員にとっては更に頻度(月2回程度)や時間(2~4時間/日)を更に増やして頂けると幸いです。	ご意見ありがとうございます。 一月あたりの頻度や1回の支援時間は、支援目的とお子さんの状態により、現場の教職員の皆様と相談して決めさせていただきました。今後とも意見を出し合いながら決めていきたいと考えます。
	5 保育所等訪問支援が入って、当該児童に変化を感じることはありましたか。	4			支援をいただいたことで関係教職員が根拠を持って支援することが出来た。	今後とも、お子さんの行動の理由と支援の根拠を説明するように努めます。
	6 保育所等訪問支が入ったことで、校内での当該児童への理解が深まりましたか。	4			当該児童についての理解が深まり入学前の懸念事項を減らすことが出来た。	児童理解の一役を担えるよう、引き続き専門性を高めるよう努力します。
	7 保育所等訪問支援が入ったことで、校内で当該児童への対応に変化がありましたか。	4			摂食や日常生活等について、可能な範囲で当該児童の自主性を踏まえて相談することが出来た。	様々な職種が在籍している当センターの強みを活かし、引き続き、支援に必要な職種・職員を臨機応変に配置出来るように配慮します。
	8 保育所等訪問支援が入ったことで、当該児童についての困りごとを相談しやすくなりましたか。	4			入学前の状況も含めて相談することが出来た。	引き続き、相談しやすい雰囲気作りを心がけます。
	9 保育所等訪問支援が入ったことで、保護者と子どもの共通理解が図りやすくなりましたか。	3	1		前項「8」により、保護者との面談等では、入学前・入学後等の役割分担もすることができ、相互理解が広がった。	就学は、お子さんだけでなく、保護者様にとっても大きな環境の変化となるため、保護者様と学校が、お子さんを中心に新しく始まる学校生活について、より具体的にイメージできるよう努めます。
	10 保育所等訪問支援が入ったことで、対応が難しいことがありましたか。			4	感謝ばかりで対応が難しくなった点等は見当たらない。	

	11	保育所等訪問支援について改善が必要だと感じたことはありましたか。	1		3	はい:改善点については直接お伝えし、早急に改善案をお示しいただき、ご対応下さいました。 いいえ:感謝ばかりで、改善が必要と感じる点は見当たらない。	本事業実施に伴い、ご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。 引き続き、支援の質の向上と話しやすい関係づくりに努めます。
--	----	----------------------------------	---	--	---	--	---

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
・対象児童の特性について、丁寧に説明していただき、助かりました。 ・大変お世話になり、ありがとうございました。今後、学習面についての支援の在り方をはじめ、特別支援学級における対応の可能性等についてもご指導いただけると幸いです。 ・通常学級における対応の可能性についてもご指導いただけると幸いです。	浦安市の学校現場の実情を理解、把握しなければ、学校の関係教職員の皆様が受け入れやすいご提案は難しいと考えております。引き続き、当センターも教育現場や文化について理解を深めたいと考えております。 また、学習面や進路相談、発達に課題のあるお子さんへの関りなどは、本市教育委員会業務と重なる部分も多い為、関係機関と連絡を取り、役割を明確にしながら、移行できる部分は引き継ぎ、本事業が学校関係教職員の皆様にとっても、お困り事の軽減に繋がるよう努めます。

公表

事業所における自己評価総括表 【未就学児】

○事業所名	浦安市こども発達センター			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～	令和 7 年 3 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	3人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 3 月 1 日		～	令和 7 年 3 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○訪問先施設評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～	令和 7 年 3 月 31 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 5 月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども発達センターは言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、療育相談員(心理士)、保育士など、様々な専門職を配置しており、それぞれの専門性を活かして、チームアプローチでお子さんの支援を行っています。	こども発達センター在籍のお子さんには、必要に応じ様々な職種によるアセスメントを行っています。保育所等訪問支援開始に当たっては、それらのアセスメント結果とお子さんと保護者のニーズを踏まえ、訪問支援員の職種を決定しています。また多角的・客観的にお子さんの発達状況を捉えて、支援計画を作成し、専門性の高い支援を提供しています。	職員一人一人の資質の向上が必要となる為、スーパーバイズやコンサルテーション、先輩訪問支援員による同行訪問など、年間を通して研修の機会を多数設定します。
2	訪問支援員は、支援に対して広い知識と技術を持ち、園への助言・説明は、具体的に分かりやすく、保育に取り入れやすいものとなっています。	保育所等訪問支援だけでなく、当センターは日頃から、様々な事業を通して訪問先施設との連携と協働を大切にしております。日頃の連携・協働が、「訪問先施設の現状に即した、具体的に分かりやすいアドバイス」に繋がったと考えます。	保育所等訪問支援だけでなく、個別相談や小集団指導のカンファレンス訪問、地域機関支援、研修会の開催などを通して、多くの職員が訪問先施設の文化やニーズを理解する機会を設けます。また、他事業所の保育所等訪問との情報交換や勉強会などの場も設定します。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の利用定員が少ない。	こども発達センターは、児童発達支援センターの機能を有しているため、法定事業や発達支援のすそ野を広げる役割のほか、市単独事業など複数の事業を展開しています。そのため職員の兼務が多く、保育所等訪問支援に充てる人材の確保が課題と捉えています。	保育所等訪問支援を実施できる職員を育成するために通年での研修を開催します。一方で、民間の児童発達支援事業所や保育所等訪問支援事業所と連携し、こども発達センターの専門性に特化した事業を展開するなど、業務の整理と効率的運営を検討します。
2	保護者様から「研修等の情報発信についての説明があったのか分からない」とのご指摘がありました。	こども発達センターは公の機関である特性上、SNSの利用などに制限はありますが、研修等の情報発信が館内掲示中心であったことは、来館頻度の少ない方にとっては情報が行き届きにくい状況であったと考えます。	館内掲示だけでなく、市ホームページ等を活用するなど、発達支援に関する情報の発信と共有を検討します。
3	保護者様より「お子さんの発達課題について共通理解ができていないか分からない」「共感的に関わっていない」というご意見がありました。	保護者様だけでなく、「必要な情報を必要なタイミングで、正確に伝える技術」および「相手に伝わるように伝えるために必要な工夫」について、職員により認識の差があると考えました。	聞き手の知りたいことが、どのようにすると正確に伝わるかといった面接スキルや、コミュニケーションスキルについて、職員間で勉強会や情報交換の機会を持ちます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果 【未就学児】

事業所名 浦安市こども発達センター (保育所等訪問支援)

公表日 令和 7 年 5 月 27日

利用児童数 6 回収数 3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2			1	意見なし	・訪問支援では、お子さんに合わせて様々な教材を使って支援しています。 ・「わからない」というご意見を受け、今後は面談等で、実際に支援で使用する教材をご紹介します。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3				意見なし	・面談は、当センター内の会議室や療育室等を使用しています。 ・引き続きプライバシーに留意しながら、保護者様の方が話しやすい環境になるように努めます。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3				意見なし	引き続き、具体的に分かりやすい説明を心がけます。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3				意見なし	・支援計画を基に、訪問先施設と訪問支援の頻度や日時を調整しています。 ・保護者様には、事前に決定した訪問日時を連絡しています。 ・体調不良等で欠席する場合は、事前に当センターにもご連絡いただくなど、引き続きご協力をお願いします。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3				意見なし	お子さんの状態に合わせて、訪問支援員の職種を決定するよう配慮しています。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				意見なし	今後も、専門性の高い支援が出来るよう努めます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				意見なし	保育所等訪問支援計画は、お子さんや保護者様のニーズを基に、訪問支援員による集団場面の評価だけでなく、個別相談職員の評価も参考にしながら作成しています。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3				意見なし	計画作成は、訪問先施設のご意見も取り入れて作成しています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3				意見なし	「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえて具体的な支援内容を設定しています。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				意見なし	計画を基に支援しています。半年に一回を目途に、保護者や訪問先施設と計画の見直しをしています。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3				意見なし	引き続き、訪問先施設の理念や保育に配慮した支援を心がけます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				意見なし	今後も、運営規程や利用者負担等について丁寧に説明するように努めます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				意見なし	面談で、「保育所等訪問支援計画」を見ながら支援内容の説明を行っています。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2			1	意見なし	・当センターでは、ペアレントトレーニングや保護者向けの研修会を開催しています。ご案内のチラシが館内掲示のみの場合、来館頻度が少ない方に、開催の情報が届かなかった可能性もあります。 ・今後は市ホームページの活用など、情報の周知方法を検討します。 ・また、当センター全体として、ご家族で視聴できる動画の限定配信などを検討していきます。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2			1	意見なし	・面談にて、お子さんの状態や課題について共通理解ができるよう努めます。 ・「わからない」とのご意見を受け、面談の持ち方や頻度を柔軟に設定できるよう検討します。 ・保護者様が話しやすい雰囲気作りなど、職員のコミュニケーションスキルや面談スキルの向上を図ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				意見なし	月に1回程度、面談を設定し、引き続き必要な助言等が出来るようにします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	1			意見なし	・「どちらともいえない」というご意見を受け、保護者様の心情に寄り添った支援が行えるよう、職員のコミュニケーションスキルや面談スキルの向上を目指します。 ・今後も気になることがありましたら、児童発達支援管理者までお申し出ください。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				意見なし	保護者様からのお困り事は面談時に伺っていますが、緊急時は電話等で伺うことも可能です。何かありましたら遠慮なくご連絡下さい。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				意見なし	必要に応じ、絵や資料など視覚的な手掛かりも用い、分かりやすく情報伝達出来るように努めます。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3				意見なし	訪問支援員は訪問先施設からの相談に積極的に応じ、訪問先施設のお子さんの理解と対応が深まるような助言・支援ができるよう、引き続き専門性の向上を図ります
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				意見なし	訪問先施設と話し合った内容は、保護者面談時に、報告しています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				意見なし	保護者様は実際の支援場面をご覧になれないことが多いので、面接時には支援方法や経過を具体的に伝えるようにしています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2			1	意見なし	保育所等訪問支援事業について定期的な情報発信は行っていますが、今年度より、保育所等訪問支援事業の事業所評価の結果をホームページに掲載します。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				意見なし	引き続き、個人情報の取り扱いに十分に留意します。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3				意見なし	訪問先施設と連携しながらお子さんが安全に過せる取り組みを継続していきます。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			1	意見なし	お子さんの安全確保のための計画については、訪問先施設の安全管理対策に則って実施する旨、保育所等訪問支援の契約時に具体的に説明します。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				先生が来るといつも嬉しそうに報告してくれました。	・保育所等訪問支援では、回ごとの支援のねらいに応じて、お子さんと直接関わる場合と、意図的に距離を取って観察する場合があります。 ・お子さんが「嬉しそうに」報告してるというご意見は、大変嬉しく思います。今後も、お子さんに安心される存在であるように努めます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				意見なし	引き続き、保育所等訪問支援を利用されるお子さんと保護者様が満足して下さるような支援を目指します。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果 【未就学児】

事業所名

浦安市こども発達センター

公表日

令和 7 年 5 月 27 日

利用児

童数

7名

令和 7 年 3 月 31 日

回収数

5名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものです。	5			・とても適切な助言や説明で、取り入れながら保育をすることが出来ました。 ・写真カードや椅子の足置き等を作成して頂き、分かりやすくすぐに取り入れることが出来ました。 ・伝える時の言葉の選び方、視覚からアプローチするカードの制作時には、具体的にどのようなものが見えやすい、分かりやすかったです。 ・クラスの状況に合わせた対応の仕方を教えてもらいました。 ・毎回良かった点を伝えていただけたので、今後にもつなげることが出来ました。	・今後も、訪問する中で、お子さんの強みや訪問支援員の行う支援の意図等について、具体的に分かりやすい説明を行い、訪問先施設の皆様が取り組みやすい支援の提案が出来るように努めます。 ・訪問先施設の職員の皆様が実際に行っている良い支援についても、その支援がなぜ良いのかを根拠とともに伝え、他の様々な場面での支援にも活かせるよう尽力します。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5			・対象児の細かい部分まで見てくれ、とても心強かったです。 ・衣服の着脱等、一緒に方法を考えて頂き助かりました。 ・活動に落ちついて参加できるよう刺激が入るようにする等、具体的に取り入れやすいアプローチの仕方を教わり助かりました。 ・専門的な視点での支援を学ぶことが出来ました。 ・何でもお答え頂きました。	・日常生活場面でのお子さんの様子を一番把握している訪問先施設の皆様からの情報を伺いながら、ともに考え、皆様とお子さんの安心と満足に繋がるよう、引き続き精進します。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5			・質問に対して、親身になって考えてくれ、またその回答も適切でした。 ・食事に関する資料を持って来て頂く等、適切に回答して頂きました。 ・毎回丁寧に回答して頂いたので、課題に向き合うきっかけとなりました。 ・カンファレンスをして下さったので、助かりました。	・ご質問に対して、分かりやすい回答が出来るよう、引き続き訪問支援員のスキルの向上を図ります。 ・口頭での説明だけでなく、書籍や教材教具等も提示できるように努力します。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5			・頂いた助言を実行し、困り事が解消出来たので、質の良い保育が行えました。 ・対象児の心情の変化等、教えて頂いたことで支援がしやすくなりました。 ・アプローチの仕方や言葉かけ等、場所ごとに参考にさせて頂きました。 ・保護者と本児の姿を共有することが出来たことが良かったです。 ・少しずつ成長していることが感じられました。	・保育所等訪問支援を利用することで、訪問先施設の皆様の困り事も解消されるように努めます。 ・色々な工夫を重ねながらお子さんの成長を待つ間も、お子さんの成長や変化を発見し、共有していきたいと考えます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5			・支援して頂いたことで、対象児は4月頃と比べ、出来ることが沢山増えました。ありがとうございました。 ・現場の状況を考慮した具体的なアドバイスでした。 ・お忙しい中、来ていただきありがとうございました。	・引き続き、訪問先施設の皆様がお子さんと安心して関わることができるよう、地域の発達支援の中核機関として、保育の後方支援に努めます。
その他のご意見						ご意見を踏まえた対応
・対象児も訪問支援員の方が好きで、安心している様子があり、一緒に活動をする上でやりやすかったです。積極的に対象児と関わり、適切な関わり方を教えて頂き助かりました。 ・月1～2回来ていただけたので、期間が空きすぎず、近すぎず、毎回一緒にいると見逃してしまうような成長も気付かせていただけた。 ・一緒に見守り、考えて下さることが、とても心強く安心して保育が出来ました。「ここは良かった」と言っていたら、「これでいいんだ」と思え、迷うところには新たな視点をいただき、本当に感謝しています。						日頃より、訪問先施設の職員の皆様のご理解・ご協力に感謝しております。支援に対する肯定的なご意見をいただきありがとうございます。今後も引き続きよろしくお願いいたします。

公表

事業所による自己評価結果 【未就学児】

事業所名		浦安市こども発達センター（保育所等訪問支援）		公表日		令和 7 年 5 月 27 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	6	0	・お子さんの集団場面を参観した上で、適切な教材教具を提案しています。 ・必要に応じて姿勢保持を促すアイテム、見通しを持ちやすくする為の写真カード等、お子さんに合わせた教材を用いて支援しています。	保育場面で必要なツールやアイテムなどがある場合は、当センターから持参したり、新たに作成していますが、訪問施設にあるものなども活用していけるとよいと考えています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	・基準の配置数は満たしていますが、利用希望者数に対し人員数は不足しており、希望者全員の方にサービスを提供できていないのが現状です。利用を希望されたお子さん全員について、お子さんを取り巻く環境とお子さんの状態などをアセスメントし、支援の必要性を総合的に考え、対象児を決定しています。検討の結果、対象外となったお子さんには不利益が生じないよう、カンファレンス訪問など当センター内の別事業を活用したり、外部の同サービスをご紹介します。 ・職員によりスキルや担当児数に偏りが生じています。	外部研修の受講やコンサルテーションなど内部研修を設定し、保育所等訪問支援に対応できる職員数の増加とスキルの向上を図ります。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	児童発達管理責任者や訪問支援員だけでなく、当センターの個別担当職員も参画し、計画立案やふり返しを行っています。	引き続き、様々な職種が配属されている強みを活かし、チームアプローチによる支援を行っていきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者向け評価表のチェックや自由記載・ご意見欄を職員間で読み解き、保護者様の意向を把握し、業務の改善に繋げるようにしています。	・引き続き、保護者向け事業所評価を実施し、業務改善を図ります。 ・今回「職員の共感的支援の有無」に「どちらともいえない」というご回答があったことを受け、保護者の心情に寄り添った支援が行えるよう、職員のコミュニケーションスキルや面談スキルの向上を目指します。	
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・児童発達管理責任者や先輩訪問支援員、担当上司が現場の意見や課題を把握し、業務改善につなげています。 ・令和6年度は、内部定例会議の開催頻度が確保できず、業務改善内容等の職員間での共有が不十分であったと考えています。	令和7年度は、組織体制を見直し、内部定例会議の開催頻度を確保していきます。これにより職員の意見および課題の把握、業務改善内容の共有を図り、迅速な対応に努めます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				今後、第三者による外部評価を行うことが課題です。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・保育所等訪問支援に関する研修を受講したり、内部で訪問支援に関する勉強会を行いました。 ・訪問支援経験の浅い職員に対し、先輩訪問支援員が同行し、支援の振り返りを行いました。	引き続き、外部研修の受講やコンサルテーションなどの内部研修の開催、先輩訪問支援員の同行訪問など、研修の機会を確保します。	
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6	0	・個々のお子さんに対し、個別場面および集団場面でアセスメントを行っています。 ・職員の専門性や経験により、アセスメントに差が生じないよう、複数の異なる職種でアセスメントを実施し、課題を分析しています。 ・分析結果とお子さんおよび保護者様のニーズをすり合わせて、計画を作成しています。	引き続き、適切な評価が出来るように職員の資質向上を図るとともに、こどもや保護者様のニーズに沿った計画を作成します。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者だけでなく、保育所等訪問支援に関わる複数職種による集団生活の評価を行っています。 ・また、個別相談担当職員の見立ても取り入れ、お子さんの最善の利益となるよう支援を検討しています。	引き続き、複数職種による多角的な視点で検討し、適切な支援が提供できるようにします。	

10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	0	・事前に訪問先施設に向いて会議の場を設け、訪問先施設や担任等の意向を伺っています。 ・お子さんの課題と保護者様のニーズ、訪問先施設で伺った意見を原案に反映し、再度ご意見を伺い、最終案を会議にて決定しています。	引き続き、訪問先施設の担当者との連携を密に図り、支援方針の決定や支援計画の作成を行います。
11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。 ・一部、お子さんの欠席が多く、計画通りの支援が難しいことがありました。	・引き続き、職員間で支援計画を共有し、計画に沿った支援を実施します。 ・計画は、現状に合わせ、適宜見直しを行い、変更時には、職員間で共有します。
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・発達検査などのフォーマルなアセスメントに加え、行動観察など、インフォーマルなアセスメントを複数職種で丁寧に行っています。	・現状の検査に加え、今後は、適応行動の状況についても、フォーマルなアセスメントツールの導入を検討します。
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」を関係職員で読み合わせ、その内容を踏まえて支援内容を設定しています。	・引き続き、令和6年7月に制定された保育所等訪問支援ガイドラインに則り、支援内容の設定を行います。
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。 ・一部、お子さんの欠席が多く、計画通りの支援が難しいことがありました。	・引き続き、職員間で支援計画を共有し、計画に沿った支援を実施します。 ・計画は、現状に合わせ、適宜見直しを行い、変更時には、職員間で共有します。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	訪問前に訪問支援員と児童発達管理責任者等で打ち合わせを行い、支援内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っています。	・引き続き、チームアプローチを支援の基本として実施します。 ・事前打ち合わせを、有益かつ効率的に行うことが今後の課題と考えています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・支援の振り返りは、可能な限り当日中に実施しています。	・兼務の関係で、訪問支援および振り返り内容の共有が当日中に難しい場合、センター内で共通して使用している電子記録に入力し、関係者間での共有を図っています。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6	0	・訪問先施設の理念や担当職員の意向に沿った支援方法が提案できるように心がけています。 ・しかし、稀に発達支援の考え方や支援手法と訪問先施設の理念の折り合いが付きにくいことがあり、この場合の支援の調整が今後の課題と考えています。	・今後も引き続き、訪問先施設に合わせた支援を心がけます。 ・様々な支援手法の習得について、引き続き職員養成に努めます。
18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・毎回の支援に関して記録を取ることを徹底しています。 ・可能な限り支援実施日に記録を取るよう努めていますが、業務量の関係で翌日以降になることがあります。	・記録は、個別支援計画の内容に沿って記載しています。 ・今後は、一つの活動を時系列に沿って変化を追う記録の取り方も導入し、支援の検証や改善に努めます。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	3か月に1回程度の頻度でモニタリングを実施し、保育所等訪問支援計画に沿って支援の方向性や介入方法、頻度などの見直しを行いました。	今後も、定期的にモニタリングを実施し、保育所等訪問支援の計画の見直しを行います。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	サービス担当者会議には、児童発達管理責任者及び訪問支援員、必要に応じて当センター個別担当職員が参加しています。	会議が有意義な意見交換の場になるように、引き続きお子さんのことを熟知する担当職員が出席するように調整します。
21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	公立機関である強みを活かし、庁内外問わず関係機関と連携を図り、ネットワーク構築に努めています。	引き続き、お子さんを中心に据えて地域の機関同士の連携を図り、お子さんを取り巻く環境がより豊かになるように努めます。

関係機関や保護者との連携	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・就園時の移行支援は、カンファレンス訪問など、市単独事業を活用して、お子さんに合った支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。 ・就学時については、今年度、試行的に就学前に保育所等訪問支援を利用していたお子さんのうち希望者に対して、保育所等訪問支援を実施し、就学先への支援内容等の情報共有を図りました。	今年度の経験を踏まえ、お子さんやご家族が安心して学校生活に移行し、安定した学校生活を送ることができるよう、人員体制を整えます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0	外部講師によるコンサルテーションを受け、質の向上を図っています。	今後も引き続き、積極的に職員育成を行います。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1	自立支援協議会こども部会等には、こども発達センターとして管理者が出席していますが、支援に係る職員は業務の関係で出席することが難しいのが現状です。	出席管理者に、保育所等訪問支援を通して知り得た“お子さんを取り巻く状況等”を適宜報告し、支援が必要なお子さんやご家族が安心して生活できる地域作りに貢献したいと考えています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	月1回程度、対面で面談の機会を設け、ご家庭と園のお子さんの姿を報告し合い、お子さんの今の発達の状況や課題について、共通理解を図るよう努めています。	保育所等訪問支援の時だけでなく、ご家族が来館された折には、職員から積極的にお声掛けをし、日頃からコミュニケーションを図るよう努めます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・当センターでは、保護者様を対象とした専門医による講義やペアレントトレーニング等の講座を開催しています。 ・ご案内のチラシが館内掲示のみの場合、来館の頻度が少ない方には開催の情報が届かなかった可能性があります。	・引き続き、ご家族向けの研修会の機会を設定します。 ・周知方法については、市ホームページ等を活用します。 ・来館頻度が少ない方には、当センターとして動画限定配信などを検討します。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に運営規程や利用者負担について、分かりやすい丁寧な説明を行っています。 ・利用者負担等に変更が生じた際は、面接場面等で速やかに説明出来るように心がけています。	引き続き、分かりやすい説明に努めます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	0	保育所等訪問支援が開始される前に、訪問先施設に Outreach、事業の概要や支援の方法、流れ、方向性を具体的に伝えていきます。	今後も訪問先施設にご理解いただき、お子さんにとってより良い支援が出来るよう、丁寧な説明を行います。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	支援計画作成にあたり、お子さんや保護者様の意志を尊重し、お子さんの最善の利益を優先しつつ、お子さんや保護者様の意向を確認するよう心掛けています。	引き続き、保護者様とお子さんの意向を丁寧に確認します。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	0	面談で、保護者様に支援計画をお見せしながら、具体的な支援方法等を説明し、保護者様と合意形成を図っています。	引き続き、質の高い支援を目指し、支援内容や具体的な方法、訪問支援員の動き方など、分かりやすく丁寧な説明を心がけます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・定期的な面談の場だけでなく、お電話でも保護者様からの子育てに関する悩みを伺い、助言や支援などを行っています。 ・ご相談内容により、適切な職種に引き継ぐこともあります。	引き続き、保護者様が安心して相談できる体制を整えます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	保育所等訪問支援では、保護者様やきょうだいなどが交流する機会を設けていません。	今後は、必要に応じ、保護者様同士の交流の機会の設定について検討します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	お子さんや保護者様から相談があった場合は、相談内容に応じ適切な職種・職員に繋ぎ、速やかに対応できるよう心掛けています。	引き続き、適切に速やかに対応できるように、センターをあげて相談体制を整えます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	6	保育所等訪問支援事業について定期的な情報発信は行っていません。	今後の発信については、組織内で検討します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の取り扱いには十分留意しています。	個人情報の取り扱いについて、全職員が共通認識を持ち、十分に留意していきます。

訪問先施設への説明等	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	お子さんや保護者様との意思の疎通には、イラストや文字などの視覚的手掛かりを併用したり、伝わりやすい情報量や難易度、タイミングなど、聞き手に合わせた配慮を心掛けています。	・引き続き、保護者様やお子さんが安心して職員とやりとりが出来るよう、センター全体として取り組みを継続します。 ・あわせて、お子さんが訪問先職員と安心してやり取りができるよう、丁寧な支援に努めます。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6	0	訪問支援に加え、訪問先職員からの相談には、できるだけタイムリーに、適切に応じるよう努めています。	・引き続き、相談しやすい雰囲気づくりや仕組みを準備し、タイムリーに相談に応じます。 ・発達支援だけでなく保育や健康、育児分野についても研鑽に励み、適切な助言を行うように努めます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	0	・訪問先の負担にならない範囲で、速やかにカンファレンスを行い、その日のお子さんの様子を共有したり、助言したりするよう努めています。 ・カンファレンスの時間を設けることが難しい場合は、支援をしながら説明や情報共有を行う等、工夫しています。	・カンファレンスでは、担任だけでなく管理職の方が参加する場合もあり、日程調整にはご配慮いただき、感謝申し上げます。 ・引き続き、訪問先施設との情報共有が実りあるものになるよう、職員もスキルの向上に努めます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6	0	・月1回程度、対面で、訪問先施設でのお子さんの様子や支援内容の報告を行っています。 ・就労等の都合で、面談時間が取りづらい場合は、電話で、出来るだけ早く共有が出来るように努めました。	・当センターでは、ご家庭と園とセンターの三者が、お子さんの理解を共通にし、それぞれが役割を担いながらお子さんの成長を支えることを目指している為、支援を具体的にお伝えする場として、対面での面接を重要視しています。保護者様にはお忙しい中、日程を調整していただき、感謝申し上げます。 ・日程調整が難しい場合は、電話でのご報告が中心でしたが、今後はオンラインの活用も検討し、タイムリーに保護者様とお子さんの状態を共有することを目指します。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の扱いに十分留意しています。	訪問先施設とのカンファレンスや担当者会議等で、個人情報を持ち出す際は、配慮事項や手順の確認など、引き続き十分に留意します。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0	訪問先施設からの相談にすみやかに適切に応じるように努め、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っています。	引き続き、訪問先施設と信頼関係を築きながら、お子さんの成長と一緒に考えていきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	当センター全体の業務計画の中で、左記の研修が位置づけられており、毎年訓練を実施しています。	・当センターでは、各マニュアルに則り訓練を実施しています。 ・必要に応じてマニュアルの見直しを行っています。 ・訪問先で緊急事態が発生した場合は、訪問先の対応に準じます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	当センター全体の安全計画を作成し、年間計画で訓練なども実施しております。	引き続き、お子さんが安全に過ごせるための取り組みを継続していきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハットが発生した場合、速やかに訪問先施設職員や児童発達管理責任者に報告し、原因分析や再発防止策を検討しています。 ・再発防止に向けた報告書を作成し、職員間で共有しています。	引き続き、ヒヤリハット事例を職員で共有し、事故の予防に向け、対策を検討します。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に1度、当センター全職員が虐待に関する研修を受けています。	引き続き、研修やセルフチェックの実施など、虐待防止に向けて意識向上を図ります。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	今までに、身体拘束が必要となることはありませんでした。	今後、やむを得ず身体拘束を行う事態が生じた場合、保護者様と訪問先施設のご意見を踏まえ、組織的に慎重に判断してまいります。 ・不適切な身体拘束が生じないよう、職員の知識とスキルの向上に努めます。